



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 大日精化工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4116 URL <https://www.daicolor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 駒田 達彦 TEL 03-3662-1638
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,709	1.1	2,493	46.8	2,745	31.2	2,495	63.6
2025年3月期第1四半期	31,349	3.3	1,698	81.1	2,093	66.0	1,525	△3.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 443百万円 (△88.1%) 2025年3月期第1四半期 3,729百万円 (47.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	145.43	—
2025年3月期第1四半期	88.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	196,867	129,318	64.5
2025年3月期	196,784	130,497	65.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 127,003百万円 2025年3月期 128,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	66.00	—	90.00	156.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	87.00	—	87.00	174.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2025年3月期中間配当金の内訳 普通配当 51円00銭 特別配当 15円00銭
 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 特別配当 15円00銭
 2026年3月期（予想）中間配当金の内訳 普通配当 72円00銭 特別配当 15円00銭
 2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 72円00銭 特別配当 15円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	64,200	3.3	3,600	3.6	4,200	12.0	3,200	△60.1	186.47
通期	127,300	2.0	7,200	2.8	8,200	5.6	6,100	△40.7	355.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	18,113,110株	2025年3月期	18,113,110株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	951,939株	2025年3月期	951,919株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	17,161,171株	2025年3月期1Q	17,156,649株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の当社グループの主要な販売先動向は以下のとおりとなりました。

輸送機器業界	国内市場では、自動車向けコンパウンド、着色剤については堅調に推移 ウレタン樹脂は採用車種の販売不振により低調に推移 海外市場では、中国向け、北米向け共に低調に推移
情報電子業界	液晶ディスプレイ向け製品は、顔料は堅調、コーティング剤は好調に推移 オフィス事務機器向けの顔料及び着色剤は低調に推移
包装・パッケージ業界	グラビアインキは、食料品用途など軟包装向けでは春先の天候不順などにより、やや低調に推移 飲料ラベル用途は、猛暑や旺盛なインバウンド需要の影響を受けて、引き続き堅調に推移
建材業界	新築住宅向けの着色剤及びコーティング剤は、住宅着工件数の低迷を背景に低調に推移 リフォーム向けは堅調に推移

以上の結果、売上高は317億9百万円（前年同期比1.1%増）と増収になりました。営業利益は24億9千3百万円（同46.8%増）、経常利益は27億4千5百万円（同31.2%増）とそれぞれ増益になりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に当社子会社が運営しておりました保険代理店事業を譲渡した事に伴う事業譲渡益4億5千万円を計上したことなどにより24億9千5百万円（同63.6%増）と増益になりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

(カラー&ファンクショナル プロダクト)

当セグメントでは、顔料及び顔料の2次加工品を中心に、顔料・繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、樹脂コンパウンド、顔料分散体、機能性材料の製造・販売を行っています。

情報電子業界向けの顔料及び分散体の売上高は、液晶ディスプレイ用途が堅調に推移しました。一方、オフィス事務機器用途は低調に推移しました。輸送機器業界向けのコンパウンド・着色剤は、国内は堅調に推移しました。海外のコンパウンド・着色剤は、全般的に堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は174億3千1百万円（同1.8%増）、営業利益は13億9千7百万円（同52.9%増）と増収増益になりました。

(ポリマー&コーティング マテリアル)

当セグメントでは、合成樹脂及び特殊コーティング剤を中心に、ウレタン樹脂、天然物由来高分子、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っています。

ウレタン樹脂は、採用車種の販売不振により全体として低調に推移しました。衣料品・服飾品業界のアウトドアウェア用途についても、当期は低調に推移しました。一方、産業資材業界向けの感熱記録用コーティング剤、情報電子業界向けのコーティング剤につきましては、好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、61億8千万円（同0.1%増）、営業利益は、7億1千3百万円（同0.6%減）と増収減益になりました。

(グラフィック&プリンティング マテリアル)

当セグメントでは、パッケージ用及び広告出版用インキを中心に、各種用途に対応した幅広い種類のグラビア・フレキソインキ、オフセットインキの開発、製造及び販売を行っています。

グラビアインキは、食料品用途等の軟包装向け及び飲料ラベル用途等の包装業界向けが堅調に推移しました。オフセットインキは前年並みに推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は80億8千6百万円（同0.7%増）、営業利益は3億7千2百万円（同457.1%増）と増収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,968億6千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ8千3百万円増加しました。これは主に「現金及び預金」が減少したこと等による一方で、「受取手形及び売掛金」及び「棚卸資産」が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は675億4千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億6千2百万円増加しました。これは主に「賞与引当金」が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,293億1千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億7千9百万円減少しました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上及び株主の皆様への配当金お支払いの結果「利益剰余金」が増加したこと等による一方で、「為替換算調整勘定」が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に開示しました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,251	22,451
受取手形及び売掛金	51,565	52,891
棚卸資産	32,596	33,656
その他	1,838	1,383
貸倒引当金	△104	△100
流動資産合計	110,147	110,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,540	20,212
土地	13,222	13,191
その他(純額)	15,188	15,259
有形固定資産合計	48,952	48,663
無形固定資産		
その他	1,241	1,276
無形固定資産合計	1,241	1,276
投資その他の資産		
投資有価証券	18,514	18,554
退職給付に係る資産	15,753	15,858
その他	2,189	2,245
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	36,442	36,644
固定資産合計	86,636	86,584
資産合計	196,784	196,867
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,430	28,909
短期借入金	10,521	10,489
1年内返済予定の長期借入金	2,796	2,232
未払法人税等	1,158	629
賞与引当金	1,826	2,713
その他	5,336	5,482
流動負債合計	50,069	50,456
固定負債		
長期借入金	7,526	8,112
退職給付に係る負債	3,357	3,392
その他	5,333	5,587
固定負債合計	16,217	17,092
負債合計	66,286	67,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,768	9,768
利益剰余金	90,910	91,862
自己株式	△2,046	△2,046
株主資本合計	108,673	109,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,758	6,944
為替換算調整勘定	8,255	6,215
退職給付に係る調整累計額	4,321	4,219
その他の包括利益累計額合計	19,334	17,378
非支配株主持分	2,489	2,315
純資産合計	130,497	129,318
負債純資産合計	196,784	196,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	31,349	31,709
売上原価	25,125	24,728
売上総利益	6,224	6,981
販売費及び一般管理費	4,525	4,488
営業利益	1,698	2,493
営業外収益		
受取利息	105	92
受取配当金	160	188
持分法による投資利益	27	55
為替差益	99	—
その他	112	153
営業外収益合計	505	491
営業外費用		
支払利息	61	67
為替差損	—	78
固定資産賃貸費用	15	22
クレーム弁償損	5	59
その他	28	10
営業外費用合計	110	238
経常利益	2,093	2,745
特別利益		
固定資産売却益	13	3
事業譲渡益	—	450
その他	30	18
特別利益合計	43	472
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	41	16
投資有価証券売却損	29	—
工場閉鎖損失	43	—
その他	—	1
特別損失合計	115	22
税金等調整前四半期純利益	2,021	3,195
法人税、住民税及び事業税	801	451
法人税等調整額	△346	209
法人税等合計	454	661
四半期純利益	1,566	2,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,525	2,495

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,566	2,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	461	186
為替換算調整勘定	1,676	△1,974
退職給付に係る調整額	△77	△101
持分法適用会社に対する持分相当額	102	△201
その他の包括利益合計	2,163	△2,090
四半期包括利益	3,729	443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,576	539
非支配株主に係る四半期包括利益	152	△96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,178百万円	1,260百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	17,127	6,174	8,031	31,333	15	31,349
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	110	60	200	(200)	-
計	17,157	6,285	8,092	31,534	(185)	31,349
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	913	718	66	1,698	△0	1,698

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借及び損害保険代理業その他の保険媒介代理業などであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	13,303	4,087	5,773	23,164	15	23,179
アジア	3,107	1,334	2,117	6,558	—	6,558
その他	716	753	140	1,610	—	1,610
計	17,127	6,174	8,031	31,333	15	31,349
顧客との契約から 生じる収益	17,127	6,174	8,031	31,333	10	31,344
その他の収益	—	—	—	—	4	4
外部顧客への売上高	17,127	6,174	8,031	31,333	15	31,349

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	27,191	6,191	8,032	41,415	15	41,430
有償受給取引による 売上相殺額	△10,064	△16	△0	△10,081	—	△10,081
外部顧客への売上高 (純額)	17,127	6,174	8,031	31,333	15	31,349

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	17,431	6,180	8,086	31,697	11	31,709
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	105	68	209	(209)	—
計	17,467	6,285	8,154	31,907	(198)	31,709
セグメント利益 (営業利益)	1,397	713	372	2,483	9	2,493

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借などでありま
す。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	13,582	4,164	5,832	23,580	11	23,591
アジア	2,866	1,282	2,024	6,173	—	6,173
その他	981	732	228	1,943	—	1,943
計	17,431	6,180	8,086	31,697	11	31,709
顧客との契約から 生じる収益	17,431	6,180	8,086	31,697	11	31,709
その他の収益	—	—	—	—	0	0
外部顧客への売上高	17,431	6,180	8,086	31,697	11	31,709

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	27,628	6,196	8,086	41,910	11	41,922
有償受給取引による 売上相殺額	△10,196	△15	△0	△10,213	—	△10,213
外部顧客への売上高 (純額)	17,431	6,180	8,086	31,697	11	31,709

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、当社及び当社国内子会社(以下「当社グループ」といいます。)の従業員に対して、当社の従業員持株会である大日精化従業員持株会(以下「本持株会」といいます。)を通じて譲渡制限付株式を付与する従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度(以下「本制度」といいます。)を導入することを決議し、併せて本持株会に対し、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分(以下「本自己株式処分」といいます。)を行うことについて決議し、2025年7月1日に本自己株式処分を実施しました。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2025年7月1日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 219,780株
(3) 処分価額	1株につき 3,065円
(4) 処分価額の総額	673,625,700円
(5) 処分方法及び割当先	第三者割当の方法による (大日精化従業員持株会 219,780株)
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による臨時報告書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2025年3月期を初年度とする3か年中期経営計画「明日への変革2027」において、新たな基本戦略として「HR戦略」を策定し、「イノベーションが湧き上がる活力に満ちた企業風土の醸成」を目標に掲げております。

同目標達成のため、2025年2月14日開催の当社取締役会において、本持株会に加入し本制度に同意する当社グループの従業員（以下「対象従業員」といいます。）に対し、エンゲージメント向上及び人財活躍推進に向けた福利厚生増進策として、本持株会を通じて当社が処分する譲渡制限付株式としての当社普通株式の取得機会を提供することとしました。これにより、対象従業員の資産形成の一助とすることに加え、当社グループの業績や株価への意識を高めることにより、株主の皆様との一層の価値共有を進め、中長期的な企業価値向上に向けてのモチベーションを高めることを目的としております。

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年6月27日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議し、2025年7月25日に本自己株式処分を実施しました。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2025年7月25日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 5,441株
(3) 処分価額	1株につき 3,100円
(4) 処分価額の総額	16,867,100円
(5) 処分方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
(6) 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
(7) 割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。） 4名 4,153株 当社役付執行役員（取締役を兼務する執行役員を除く。） 3名 1,288株

2. 処分の目的及び理由

当社は、2021年3月24日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除きます。）及び当社の役付執行役員（取締役を兼務する執行役員を除きます。）に対し、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議いたしました。

また、2021年6月29日開催の当社第118期定時株主総会において、本制度に基づく譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬として、当社の取締役（社外取締役を除きます。）に対して、年額50百万円以内（ただし、使用人分給与は含みません。）の金銭報酬債権を支給すること、及び本制度に基づき発行又は処分する株式数は年30,000株以内とすること等につき、ご承認をいただいております。

当社は、2025年6月27日開催の当社第122期定時株主総会において、「監査等委員会設置会社」へ移行したことに伴い、本制度に関する従来の定めを廃止し、新たに本制度に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。）に対して、年額50百万円以内（ただし、使用人分給与は含みません。）の金銭報酬債権を支給すること、及び本制度に基づき発行又は処分する株式数は年30,000株以内とすること等につき、ご承認をいただいております。